

中田かわら版 1月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田連合地区経営委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所

制作：中田かわら版制作編集委員会

横浜市踊場地域ケアプラザ

■ この人に会いたい<40>

NPO 法人「四季の会」海江田 弘さん (78歳) 山神前



海江田さん (2017.12)

昭和35年(1960年)、全日空に入社。配属は整備部無線係だった。39年、整備管理部に所属してからは対官庁関係の業務が多くなった。郵政省(電波管理局)、運輸省(航空局)などの申請、検査試験飛行立会いや、電波法・航空法に関する航空機搭載機器の時間管理と交換時期指示など、重要なポジションの日々だった。

そんな折、札幌祭りの帰りで札幌発羽田行きBOING727の羽田沖墜落事故。入社して初めての重大事故だった。近くの全漁船をチャーターして朝6時から夕方まで残骸の収容作業に当たる。社に戻ったときは辺りはとっぷり日が暮れていた。その年の11月、今度は松山沖でYS-11の墜落事故が起きた。この時の全社員の間では「社を潰すな」という気概を持っていた。例えば羽田沖事故では150時間の残業さえ返上し作業にあたった。そうした強い信念があったからこそ、その後一度も死者を出すような事故は起きていない。平成12年(2000年)1月31日、39年7か月を勤め定年を迎えた。海江田さんが地域で中田連合、福祉活動、町内会などで総務や会長職で抜群の文書、事務能力を発揮するのは現役のころ携わった仕事に由来しているだろう。会社でも会合の記録、文書など「何か分からないことは海江田に聞け」と評判だったとか。これは今も変わっていない。記念誌発行のときも、昔の記録の件でいろいろお世話になっているからである。



朝顔市で(左から3人目)

NPO 法人「四季の会」で永年活躍しているのは周知の通り。平成10年12月から同19年11月まで民生・児童委員。その間、14年から中田連合自治会副会長2年、5月から中田社協役員、16年5月同副会長を7年務める。16年は中田社協の運動方針に5項目事業が取り入れられ「子育てサロン」の立ち上げに貢献、現在も立派に運営されている。18年から20年まで事務局長を務め、会の運営に貢献している。



「子育てサロン」の海江田さん(右男性)

一方、山神前自治会との関りは昭和51年6月から同53年、交通部長、53年4月から58年11月総務部長。平成3年4月～4年8月、同会副会長、その間会長代理を含め5年4月から8年まで会長を務めてきた。平成22年(2019年)4月～25年3月まで町内会顧問兼副会長。25年3月、老人クラブ「神寿会」副会長に。25年4月から同町内会の顧問を継続、就任することに決まる。

楽しい話もたくさんあった。海江田さんの趣味はバレーボール、柔道、読書。現役時代のこと、社内対抗のバレーボール大会で監督で活躍した話、印象に残った本ではデール・カーネギー『人を動かす』ときっぱり。最後の言葉も紹介しておこう。「会社での39年間、いろいろ経験をさせていただき、お金の財産はないが多くの知人を得、金には代えられない財産を戴いたことに感謝したい」。(宮田貞夫)

～一人ひとりがCO₂を減らす努力をし、美しい地球を子どもたちに残そう！～

2月のイベント

このチラシの情報をより詳しく知りたい方は、踊場地域ケアプラザ 葛西（かさい）まで問い合わせください。

TEL 801-2114 FAX 801-2923

【囲碁将棋大会】

日時：2月4日(日)

受付：8:30 (9:20 開会式)

場所：中田町会館 2階

- ・ 今年の名人は誰の手に！恒例の囲碁将棋大会を開催します。

参加費：¥500- (昼食代)

参加者：小・中学生・一般 (高校生以上)

申込：各町内会・自治会文化部長まで

■「くずの葉コーラス」第8回定期演奏会

日時 平成30年1月28日(日)13:00 開場/13:30 開演

会場 みなとみらい小ホール TEL045-682-2020

JR.市営地下鉄「桜木町駅」徒歩10分

指揮 土屋素子 pf.中井美枝

曲目 抒情小曲集「月の角笛」より (木下牧子)

三つの聖歌合唱曲集「信仰・希望・愛」(ロッシーニ)

入場無料・全席自由

<問い合わせ> 松岡 045-803-5393



清水眞司さん (左は望月会長)

■中田町会館の看板新しく書き換え

今度の文字は格調があり、見事な出来栄え、今後50年、100年先まで大丈夫一。中田連合の活動拠点でもある中田会館。平成9年に建造されて約20年が経ち会館の看板の文字も色あせていた。望月榮会長のたつての希望もあって、今年の9月末に完成した。前の板の表面を削った縦153センチ、よこ27cm、厚さ4センチの立派なものだ。

書を書いたのは、前と同じ書家の清水眞司さん(双葉自治会)。『中田かわら版』(80号、平成26年)で「この人に会いたい」で紹介したよ

うに篆刻の世界では第1人者で伝統ある毎日書道展参与でもある。変わったのはいわゆる看板文字ふうに四角張った書体だったのを、行書で力強く、文字にも大小強弱をつけ、バランスのとれた制作になった。もう一つの特徴は一文字一文字をノミで彫って作られている。15種類ほどのノミが使われ(写真)、文字が盛り上がり立体感を持たせている。その文字に墨を塗り、その上から雨



風に強いように防腐剤を塗ってあるので半永久的に保存が可能とか。

なお側面にはこう記されている。平成二十九年九月吉日 六穂 清水眞司書并刻

清水さんは「私の書が会館に飾られるのは非常に光栄です。中田の皆さんに末永く喜んで頂ければ、こんな嬉しいことはありません」と話している。(宮田貞夫)

中田連合 50年記念誌発行

中田連合は昭和42年に発足、今年で創立50周年を迎えた。40周年以降10年間の様子を、中田連合内30自治会町内会を始め様々な活動を紹介している。装丁は従来のB4版からA4版横書きカラー写真で構成。94ページ800部を印刷。(山木重樹)

■「中田っ子発表会」(中田小学校)で歴史にチャレンジ!

12月5日、中田小学校で「平成29年度・中田っ子発表会」があり、全学年一斉に行われ、日ごろの研究成果を披露、地元の人や父兄の参加者でにぎわった。3年4組の児童が選んだテーマは「昔を調べよう 100年以上まえの中田にチャレンジ」。庚申塔、しらゆり公園内の石碑、踊場のネコの供養塔、石巻康孝の墓、西森稲荷など5つのテーマを地図、写真など使って研究した成果を発表した。

担任の大江先生は「よい体験をしたと思います。これをきっかけに地域の歴史に関心を持ってもらえば」と話していた。

「中田白百合地域情報サイト」にて地域の最新の情報や、かわら版バックナンバーなどを調べることができます。www.odoriba-cp.jpへアクセス!!